

ミニバス 鳴神山報告

2021年5月9日(日)

参加者 計9名

駒形登山口～～第1石門～～第2石門～～雷神岳神社広場～～鳴神山(桐生岳)～～仁田山岳～～

8:45 発 10:15～10:30 10:35～10:45 10:50

～～第1展望台～～洞田峠～～カッコソウ群生地～～洞田峠～～赤芝登山口～～駒形登山口

11:30～12:00

13:20 着

2年前の12月に鳴神山に登った時にカッコソウを守る会の人から5月の連休の頃、是非カッコソウを見に来るように言われていたが去年はコロナウイルス感染自粛の為県外にでられず、今日の運びとなった。カッコソウが見頃のためか駐車スペースはすでに満杯、路肩駐車も多かったが空いている所を見つける事が出来た。廣土橋を渡り自然探勝路を歩く緑葉の中のヤマツツジの赤がまぶしい程に咲きほこっていた。1h30分で雷神岳神社広場に着いた。鳴神山を守る会の人達が私達を待ちかまえたように説明を10分位してくれた。その中でひいらぎ草が下山口近くにある事も教えてくれた。そこから急坂を5分位登ると鳴神山山頂に着いた。狭い山頂には4基の祠が置かれ信仰が盛んだった頃を偲ばれた。北に男体山などの足尾山山塊、西に上毛三山など360度の大展望が得られた。集合写真を撮り雲行が怪しくなってきたので10分位で下山、もう一つの鳴神山をめざした。仁田山岳には2基の祠が祀られヤマツツジが今が盛りとばかりに咲きほこっていた。仁田山岳を下山途中第1展望台の近くに白い姫イワカガミが咲いていた。赤やピンクが多いなか白は珍しかった。いよいよお目当てのカッコソウを見に行きます。洞田峠を5分位下ると見えてきました。カッコソウは鳴神山のみに分布するサクラソウ科の多年草で絶滅危惧種に指定されている。地元有志の人達(現在はカッコソウを守る会)が20数年かけて移植、保護しています。今年は例年になく見事に咲いたそうです。頭が下がる思いです。カッコソウをカメラに納め10分程登り洞田峠に戻って昼食休憩し赤芝登山口に下りました。そこから林道をひいらぎ草をさがしながら歩き、諦めかけた頃やっと駒形登山口の近くにひいらぎ草が群生していました。鳴神山は低山ながら秩父古生層の海底堆積物を中心とした硬い岩石からなり亜高山帯から高山帯に見られる植物が咲く、貴重な自然環境を保っている為いろいろな花が見られます。季節を変えてまた登りたいと思いました。

(AS記)



雨巻山（足尾山～御嶽山～雨巻山～三登谷山）ハイキング

参加者 9名



平均年齢 74 歳（**まだまだ元気です**）

7時15分お魚センターを2台の車で出発、途中茂木道の駅で休憩。石黒さんは大川戸登山口に直行し先に登山口に到着、私は途中道の迷えながら到着。駐車場はほぼ満車で四、五十台ありました。9時30分登山開始、足尾沢コースを沢水の音を聞きながら10時30分足尾山到着記念撮影それから20分で御嶽山天気は曇りでしたが曇の間からの山々の新緑が良かった。御嶽山で若い女性3人と話しが弾み元気を貰いました。それから雨巻山まで多少の高低差がありましたほぼ平坦でした。12時に到着し昼食。12時40分に出発して展望台に寄ったが、周りの樹木が高くあまり良い眺めでは無かった。大川戸登山口に下山し途中三登谷山に立ち寄りました。午後2時30分に駐車場に到着。所要時間約4時間。帰りは茂木道の駅で解散。私が気づいた事、茨城県の間もあまり登っていませんが栃木県の山は良く整備されていると思いました。また企画しますので参加よろしくお願いたします。

(HT 記)